

産業廃棄物の減量・リサイクル戦略プラン策定に係る 第5回政策検討委員会議事要旨

- 1 日時 平成18年11月30日(木曜) 午後1時30分から2時30分まで
- 2 場所 平安会館 羽衣の間
- 3 議事 プラン最終案について

4 出席委員(50音順)

占部 武生(龍谷大学理工学部 教授)
谷口 正克(社団法人京都工業会 業務推進役)
檀野 恭介(株式会社京都環境保全公社 事業部営業部長)
平井 康宏(京都大学環境保全センター 助教授)
渡邊 裕文(社団法人京都府建設業協会 常任理事)

5 内容

エコ・コンソーシアムについては京都市と十分協力・連携してやっていくべきだ。

重点施策としてあげているものについては、着実な実施ができるよう、具体的に事業計画を少なくとも年度中には固め、19年度にきっちり実施できるようにしておく必要がある。

どの行政でも財政状況が厳しい中で予算要求についてもなかなか難しいと思われるが、どの施策にもしっかり取り組んでほしい。

重点施策の中では、短期的に効果のあがるものだけでなく、長期的な視野で効果のあがるような施策もあるが、循環型社会形成計画の22年度の目標達成に向けて、もっとどのようなものに重点化すればよいのかを判断するために、各施策の最終処分量削減効果も考えていく必要がある。